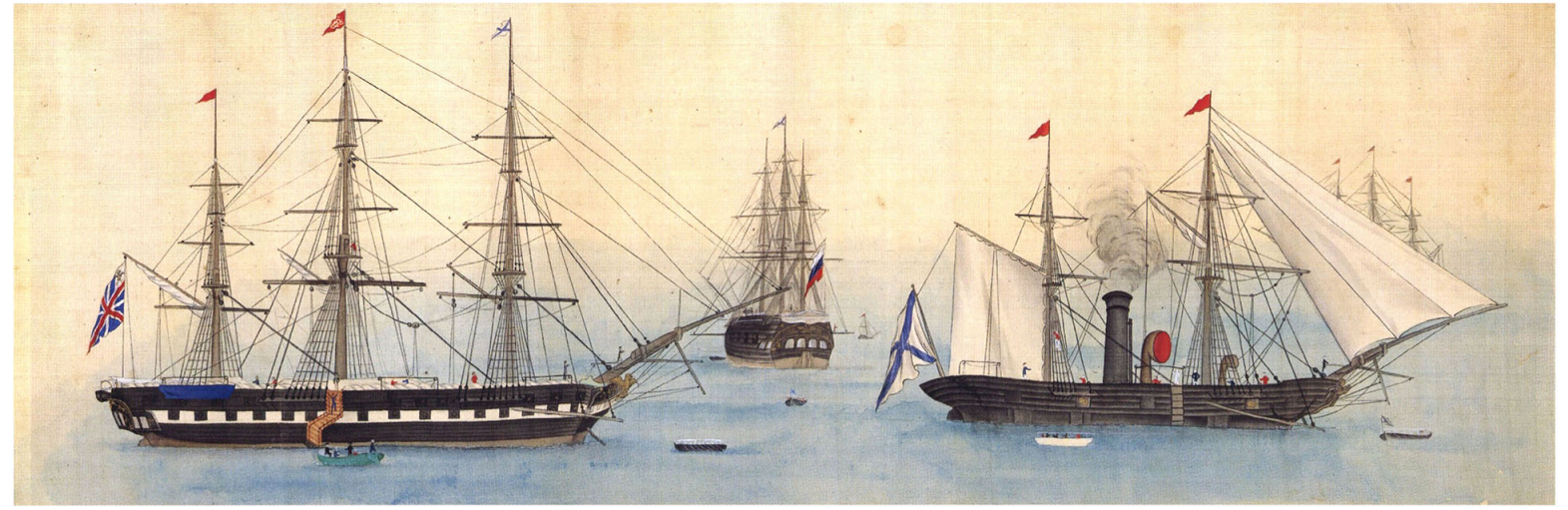
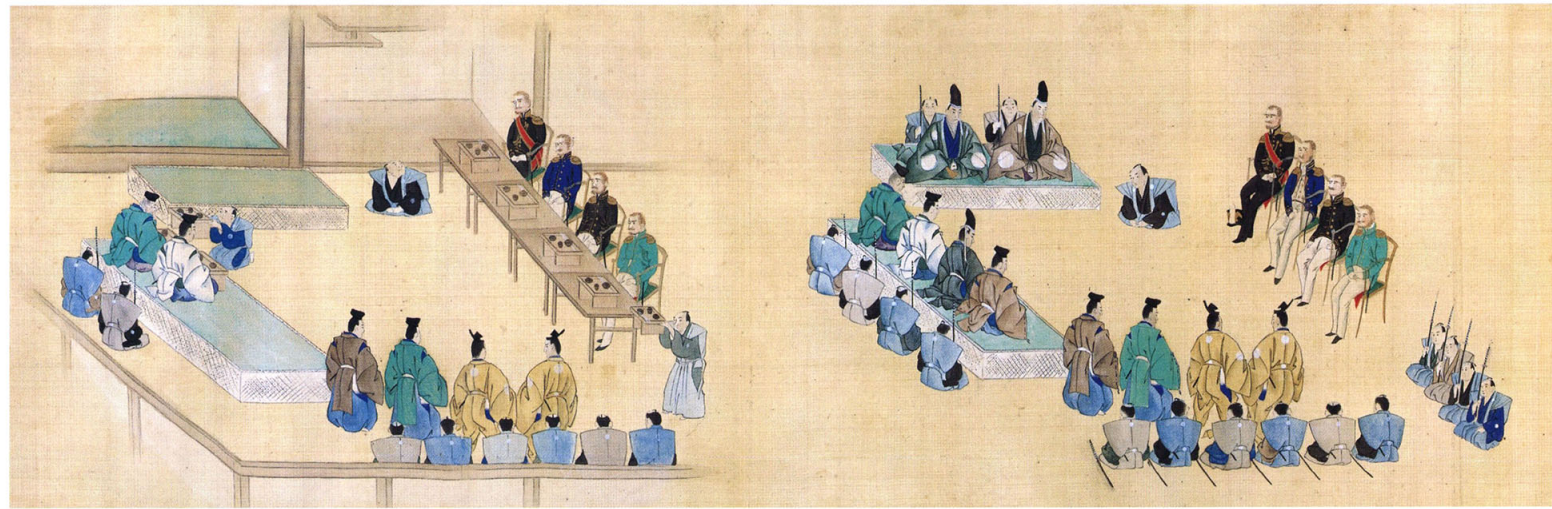


鼓笛隊を先頭にしたプチャーチン一行の行列

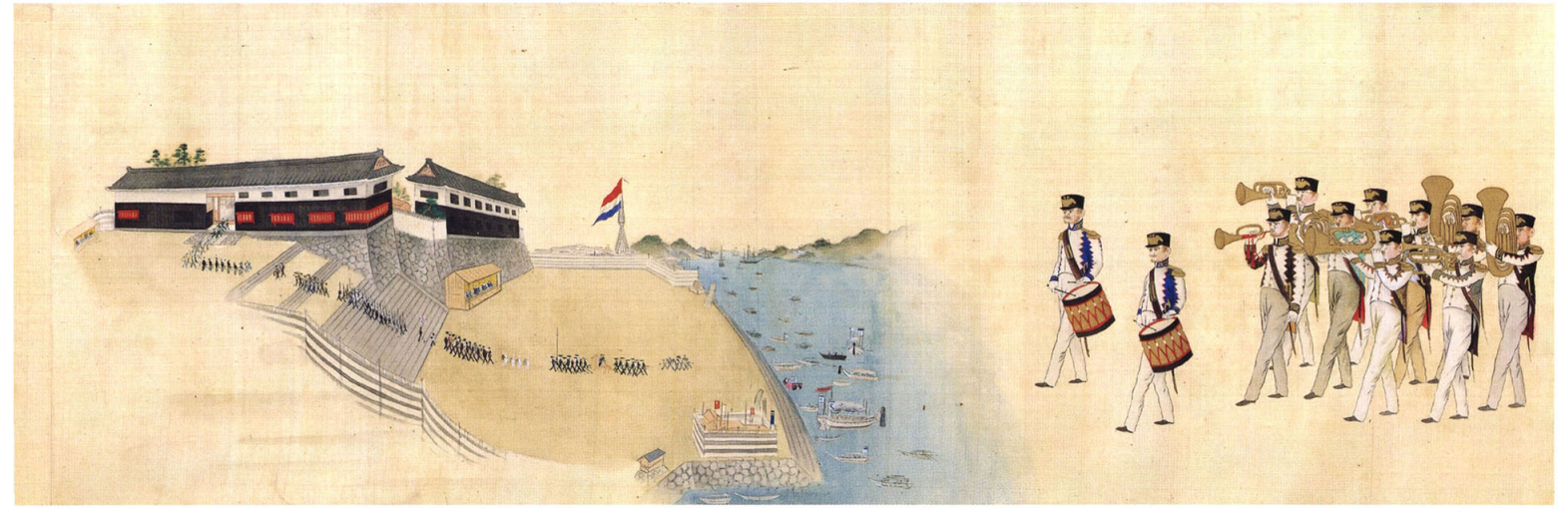


海上に浮かぶ四艘のロシア艦隊



三汁七菜と酒が饗される

椅子に着座するロシア側と畳に座る日本側



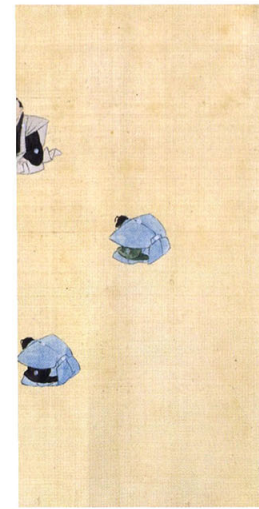
長崎奉行所へ隊列を組んで入門していく一行



プチャーチン(右)と副官兼通訳官ボシェット(左)

日本側からロシアの要求に対する返書が渡される

プチャーチンらへ真綿や紅白の綸子が贈られる



嘉永六年(一八五三)六月にアメリカ合衆国使節としてペリーが浦賀へ、そして七月にはロシア国使節プチャーチンが長崎へと立て続けに来航した。いずれも日本に通商開始を要求することが目的であり、さらにロシアは国境の画定も日本へ要求した。本絵巻は、このプチャーチン長崎来航の様子を描いたものである。鼓笛隊を先頭にした行列の場面では、プチャーチンの前方に国書を捧げ持つ隊員、最後尾には着座用の椅子を運ぶ隊員の姿が描かれている。プチャーチンらと大目付筒井肥前守、勘定奉行川路左衛門尉らが奉行所内で初対峙する場面では、椅子に座る相手となるべく目線をそろえようと、日本側は特別に高く設えた二畳台に着座している。ちなみに、このプチャーチン長崎来航を描いた絵巻は、図様が共通する異本が複数存在しており、異国船の来航がいかに関心をもく題材であったかがうかがえる。

箱書によれば、作者は田川玉巖という画家であり、ある人物の秘藏品であったものが、本絵巻を献上した石川恒年(一八六四〜一九四五)の手に渡ったという。明治四十四年十一月の明治天皇九州ご巡幸の際には、久留米の行在所において天覧に供されたとも記され、昭和の大札を祝して、石川本人より献上された。石川は、福岡出身で音楽取調所、東京図画専修学校で学び、一時は夏目漱石と同じ愛媛の松山中学で図画の教師をつとめた人物である。

12 プチャーチン長崎上陸図 田川玉巖 一巻
絹本着色
本紙二八・二×四五・一・九
江戸時代(十九世紀)

- ・各展覧会図録中，作品名や作者，制作年などの表記は，図録発行当時のものです。
- ・三の丸尚蔵館の展覧会図録の著作権はすべて宮内庁に属し，本ファイルを改変，再配布するなどの行為は有償・無償を問わずできません。
- ・三の丸尚蔵館の展覧会図録（PDF ファイル）に掲載された文章や図版を利用する場合は，書籍と同様に出版を明記してください。また，図版を出版・放送・ウェブサイト・研究資料などに使用する場合は，宮内庁ホームページに記載している「三の丸尚蔵館収蔵作品等の写真使用について」のとおり手続きを行ってください。なお，図版を営利目的の販売品や広告，また個人的な目的等で使用することはできません。

珍品ものがたり

三の丸尚蔵館展覧会図録 No. 58

編集 宮内庁三の丸尚蔵館
制作 株式会社 東京美術
翻訳 横溝廣子
発行 宮内庁
平成二十四年七月二十一日発行

© 2012, The Museum of the Imperial Collections